

2021年度 第54回細胞検査士資格認定試験学科筆記試験

その1 総論

1. 小葉構造を示す臓器・器官として正しいものはどれですか。
 - A. 肺
 - B. 乳腺
 - C. 脾臓
 - D. 副腎
 - E. 甲状腺
 1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
2. ウイルスとウイルスゲノムの組合せで正しいものはどれですか。
 - A. サイトメガロウイルス (CMV) ————— RNA
 - B. Epstein-Barr ウイルス (EBV) ————— DNA
 - C. ヒト免疫不全ウイルス (HIV) ————— RNA
 - D. ヒトパピローマウイルス (HPV) ————— RNA
 - E. ヒト T 細胞白血病ウイルス (HTLV-1) — DNA
 1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
3. BRCA1/BRCA2 遺伝子変異との関連性がある腫瘍について正しいものはどれですか。
 - A. 腎癌
 - B. 卵巣癌
 - C. 前立腺癌
 - D. 子宮頸癌
 - E. 甲状腺癌
 1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
4. 発癌の原因となるウイルスとして正しいものはどれですか。
 - A. ポリオーマウイルス
 - B. ノロウイルス
 - C. エンテロウイルス
 - D. サイトメガロウイルス (CMV)
 - E. ヒトパピローマウイルス (HPV)
 1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
5. 砂粒体の出現頻度が高い腫瘍として正しいものはどれですか。
 - A. 髄膜腫
 - B. 神経鞘腫
 - C. 扁平上皮癌
 - D. 顆粒膜細胞腫
 - E. 甲状腺乳頭癌
 1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
6. 線毛を有する臓器・器官として正しいものはどれですか。
 - A. 尿管
 - B. 卵管
 - C. 気管支
 - D. 甲状腺
 - E. 唾液腺
 1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
7. 細胞所見と疾病の組合せで誤っているものはどれですか。
 - A. Auer 小体 ————— 形質細胞腫
 - B. Russel 小体 ————— 急性骨髄性白血病
 - C. Apitz 小体 ————— 悪性黒色腫
 - D. Mallory 小体 ————— アルコール性肝炎
 - E. Schaumann 小体 ————— サルコイドーシス
 1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
8. 細胞と局在の組合せで誤っているものはどれですか。
 - A. パネート (Paneth) 細胞 ————— 直腸
 - B. ライデッヒ (Leydig) 細胞 ————— 精巣
 - C. カハール (Cajal) 介在細胞 ————— 胃
 - D. クルチッキー (Kultschizky) 細胞 ————— 気管支
 - E. ランゲルハンス (Langerhans) 細胞 ————— 胎盤
 1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E
9. 膵島から分泌されるホルモンについて誤っているものはどれですか。
 - A. インスリン
 - B. グルカゴン
 - C. ガストリン
 - D. カルシトニン
 - E. ソマトスタチン
 1. A. B
 2. A. E
 3. B. C
 4. C. D
 5. D. E

10. 臓器・器官と胚葉の組合せで正しいものはどれですか。
1. 脾臓 _____ 内胚葉
 2. 甲状腺 _____ 中胚葉
 3. 副腎皮質 _____ 外胚葉
 4. 副腎髄質 _____ 内胚葉
 5. 下垂体後葉 _____ 外胚葉
11. 腫瘍の発生と性差について正しいものはどれですか。
1. 中皮腫は女性に多い。
 2. 尿路上皮癌は男性に多い。
 3. 甲状腺濾胞癌は男性に多い。
 4. 肝血管筋脂肪腫は男性に多い。
 5. 膵粘液性嚢胞腫瘍は男性に多い。
12. トラスツズマブの分子標的マーカーとして正しいものはどれですか。
1. EGFR
 2. EML4-ALK
 3. HER2
 4. PDGFR
 5. ROS1
13. 本邦のがん統計(2019年)について正しいものはどれですか。
1. 女性で死亡数が最も多いのは乳癌である。
 2. 男性で死亡数が最も多いのは大腸癌である。
 3. がんの年齢調整死亡率は近年増加傾向にある。
 4. 男女合わせると肺癌による死亡数が最も多い。
 5. がんの罹患率は60代以降で男性よりも女性で高い。
14. 粗面小胞体の発達した細胞が示す染色性として正しいものはどれですか。
1. 異染性
 2. 好酸性
 3. 好銀性
 4. 好塩基性
 5. 嫌色素性
15. ウイルスと疾病の組合せで正しいものはどれですか。
1. サイトメガロウイルス(CMV) _____ 肝細胞癌
 2. C型肝炎ウイルス(HCV) _____ バーキットリンパ腫
 3. ヒトヘルペスウイルス4(HHV-4) _____ 胃 MALT リンパ腫
 4. ヒトヘルペスウイルス8(HHV-8) _____ カポジ肉腫
 5. ヒトパピローマウイルス(HPV) _____ 尿路上皮癌
16. 細胞内小器官と機能の組合せで正しいものはどれですか。
1. ゴルジ体 _____ エネルギー産生
 2. 滑面小胞体 _____ 脂質代謝
 3. リソソーム _____ 蛋白合成
 4. リボソーム _____ 異物の分解
 5. ミトコンドリア _____ 分泌物合成
17. アミロイドについて正しいものはどれですか。
1. 色素変性
 2. 糖質変性
 3. 脂肪変性
 4. 蛋白質変性
 5. 無機質変性
18. 感染症法における分類で二類感染症に属するものとして正しいものはどれですか。
1. 結核症
 2. アメーバ赤痢
 3. クラミジア症
 4. 単純ヘルペスウイルス(HSV)感染症
 5. ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症
19. 病態と疾病の組合せで誤っているものはどれですか。
1. Sézary 症候群 _____ T細胞性リンパ腫
 2. Sipple 症候群 _____ 顆粒細胞腫
 3. Stewart-Treves 症候群 _____ 血管肉腫
 4. von Hippel-Lindau 症候群 _____ 血管芽腫
 5. von Recklinghausen 病 _____ 神経線維腫

20. ホルモンと産生細胞の組合せで誤っているものはどれですか。
- | | | |
|------------|-------|-----------|
| 1. プロラクチン | _____ | 下垂体前葉細胞 |
| 2. エストロゲン | _____ | 顆粒膜細胞 |
| 3. サイロキシシン | _____ | 甲状腺濾胞上皮細胞 |
| 4. パラソルモン | _____ | 副甲状腺主細胞 |
| 5. アルドステロン | _____ | 副腎髄質細胞 |

その2 技術

1. 顕微鏡の操作について正しいものはどれですか。
- | | |
|---------------------------------------|---------|
| A. 左右の視力の違いの補正には眼幅調節座を用いる。 | 1. A. B |
| B. 視野に影やムラがある場合は開口絞りで調整する。 | 2. A. E |
| C. コンデンサー開口絞りは対物レンズの開口数の 85~90%に調整する。 | 3. B. C |
| D. コンデンサーの位置は最上部から下がった位置である。 | 4. C. D |
| E. 対物レンズの補正環はカバーガラスの厚さの差による像の焦点を補正する。 | 5. D. E |
2. 超音波内視鏡下穿刺吸引(EUS-FNA)について正しいものはどれですか。
- | | |
|---------------------------------|---------|
| A. 腫瘍以外にリンパ節などが対象となる。 | 1. A. B |
| B. 穿刺針は 18G を使用することが多い。 | 2. A. E |
| C. 迅速細胞診に Shorr 染色は用いられない。 | 3. B. C |
| D. 穿刺吸引後は陰圧をかけたまま病変から針を抜く。 | 4. C. D |
| E. 壊死物質のみが採取された場合には再穿刺を促した方がよい。 | 5. D. E |
3. Papanicolaou 染色について正しいものはどれですか。
- | | |
|--|---------|
| A. ギル・ヘマトキシリン染色液に含まれる酸化剤はヨウ素酸ナトリウムである。 | 1. A. B |
| B. OG-6 染色液に含まれるリタンングステン酸はオレンジ G の過染を抑制する。 | 2. A. E |
| C. 細胞質染色は化学的親和性を利用している。 | 3. B. C |
| D. ヘマトキシリンはわずかに負に荷電した色素である。 | 4. C. D |
| E. オレンジ G , エオジン , ライトグリーンは正に荷電した色素である。 | 5. D. E |
4. 次のうち正しいものはどれですか。
- | | |
|--|---------|
| A. PAS 反応で軟骨基質は陽性を示す。 | 1. A. B |
| B. Alcian blue 染色は Colloidal iron 染色よりヒアルロン酸の証明に有用である。 | 2. A. E |
| C. Toluidine blue 染色ではアスベスト小体が青色に染色される。 | 3. B. C |
| D. Grocott 染色は放線菌の染色には不適切である。 | 4. C. D |
| E. Mucicarmine 染色では <i>Cryptococcus</i> の菌体が赤~淡赤色に染まる。 | 5. D. E |
5. 体腔液の標本作製方法について誤っているものはどれですか。
- | | |
|---|---------|
| A. 滲出液は漏出液に比べ早期に細胞変性が起こる。 | 1. A. B |
| B. オートスマア法は細胞数が少ない検体の標本作製に有用である。 | 2. A. E |
| C. 遠心後, バフィーコート層を採取して標本作製する。 | 3. B. C |
| D. 引きガラス法で高粘稠度の検体では角度を低く, ゆっくり引く。 | 4. C. D |
| E. 0.9%塩化アンモニウム溶液は 1.2%シュウ酸アンモニウム溶液より溶血速度が速い。 | 5. D. E |
6. 特定化学物質障害予防規則対象物質で誤っているものはどれですか。
- | | |
|----------|---------|
| A. メタノール | 1. A. B |
| B. クロム酸 | 2. A. E |
| C. アンモニア | 3. B. C |
| D. 硝酸 | 4. C. D |
| E. キシレン | 5. D. E |
7. セルブロック法について正しいものはどれですか。
- | |
|--------------------------------|
| 1. 電子顕微鏡的検索には応用できない。 |
| 2. 遺伝子検索に応用可能である。 |
| 3. 細胞沈査が微量の場合に有用な方法である。 |
| 4. アルギン酸ナトリウム法の前処理はアルコール固定を行う。 |
| 5. 原発巣の推定には用いられない。 |
8. PAS 反応について正しいものはどれですか。
- | |
|-------------------------------|
| 1. シッフ試薬の染色性は液の温度に左右されない。 |
| 2. シッフ試薬は刺激臭が無くなっても染色性は低下しない。 |
| 3. シッフ試薬の検定にホルマリンを使用することはない。 |
| 4. ヒアルロン酸は陰性を示す。 |
| 5. 乾燥標本には応用できない。 |
9. 免疫細胞化学染色について正しいものはどれですか。
- | |
|---|
| 1. 内因性ビオチンの影響はポリマー試薬を用いる時に多くみられる。 |
| 2. 非特異反応はモノクローナル抗体の使用に際して認められることが多い。 |
| 3. 増感法としてリン酸緩衝生理食塩水 (PBS) にスキムミルクを添加する。 |
| 4. 古い DAB 溶液でも非特異的な着色はみられない。 |
| 5. 核内抗原は加熱による賦活後に標本を急冷すると陰性化することがある。 |

10. 次のうち正しいものはどれですか。
 1. ホルムアルデヒドの管理濃度は 0.5ppm である。
 2. ホルムアルデヒドは有機溶剤中毒予防規則（有機則）の規制対象である。
 3. ホルムアルデヒドの作業記録保存は 5 年間である。
 4. キシレン、メタノールは女性労働基準規則に含まれる。
 5. キシレンの作業環境測定は 1 年に 1 回実施する。
11. 黄色いバイオハザードマークに廃棄するものとして正しいものはどれですか。
 1. 血液のついたガーゼ
 2. 尿の入ったスピッツ
 3. 検尿コップ
 4. 検体処理に使用した手袋
 5. 標本作製中に割れたスライドガラス
12. 顕微鏡について誤っているものはどれですか。
 1. 対物レンズの開口数が多いほど分解能は向上するが焦点深度は浅くなる。
 2. 視度調整は左右順番に接眼レンズを覗き、フォーカス微動ハンドルでピントを合わせる。
 3. 対物レンズのカラーコードは JIS 規格で 10 倍が黄色と規定されている。
 4. アスベスト小体の計測には位相差顕微鏡が使用される。
 5. 色収差とは光の波長の違いにより結像位置が異なる現象である。
13. 誤っているものはどれですか。
 1. 検体取り違えを防ぐために 1 検体ずつ処理を行う。
 2. 検体処理は防護具を着用し、安全キャビネット内で行うことが望ましい。
 3. 脳脊髄液は細胞量が少ないため、高速短時間で遠心し効率よく細胞を回収する。
 4. 早朝尿の細胞量が多いが、変性が加わることが多い。
 5. 穿刺吸引細胞採取では腫瘍の中心部を避けて細胞を採取することが望ましい。
14. Papanicolaou 染色について誤っているものはどれですか。
 1. オレンジ G は酸性色素である。
 2. オレンジ G はライトグリーンよりも色素の拡散度が小さい。
 3. ギル・ヘマトキシリン染色液は退行性染色である。
 4. OG-6 染色液、EA-50 染色液の溶媒はいずれも 95%エタノールである。
 5. ビスマルクブラウンは類脂質の染色に関与している。
15. Polymerase chain reaction (PCR) 法について誤っているのはどれですか。
 1. DNA 配列上の特定の領域を増幅させる反応である。
 2. 耐熱性 DNA ポリメラーゼが用いられる。
 3. プライマーとは標的 DNA と相補的な配列を持つ短い一本鎖 DNA である。
 4. DNA 合成の基質としてデオキシヌクレオチド三リン酸が必要である。
 5. 反応中は常時約 90°C に保つ必要がある。
16. Giemsa 染色について誤っているものはどれですか。
 1. 基底膜物質はメタクロマジーを示さない。
 2. 粘稠性の高い検体には適さない。
 3. 乾燥標本では湿固定よりも細胞が大きくみえる。
 4. Papanicolaou 染色に比べ重積集塊の観察がしづらい。
 5. 造血器腫瘍の診断に適する。
17. 次のうち誤っているものはどれですか。
 1. Giemsa 染色は間質粘液を含む多形腺腫や腺様嚢胞癌に有用である。
 2. PAS 反応では胃の低分化腺癌で粘液が赤紫色に染まる。
 3. PAS 反応ではシッフ試薬の反応時間が長くなると過染を引き起こす。
 4. Peroxidase 反応ではリンパ球系細胞が陽性を示す。
 5. グリコーゲン α -アミラーゼ消化法で消化される。
18. 免疫細胞化学染色について誤っているものはどれですか。
 1. Papanicolaou 染色標本を脱色して使用することができる。
 2. 湿固定時間が長いと抗原性が低下する場合がある。
 3. 間接法よりも酵素標識ポリマー法の方が高感度である。
 4. 酵素処理法による抗原賦活化は長時間行った方が良い。
 5. 重積性の強い集塊の場合は偽陰性を考慮する。
19. Papanicolaou 染色について誤っているものはどれですか。
 1. 固定前に乾燥した標本では細胞が膨化する。
 2. 固定時間の長さは染色性に影響しない。
 3. 核染色の分別に高濃度の塩酸液を用いると核の染色性が薄くなる。
 4. EA-50 染色後は 95%エタノールで分別する。
 5. 乾燥後アルコール固定した標本では再水和処理が無効である。

20. 固定に関して誤っているものはどれですか。
1. アルコール固定はホルマリン固定に比べて細胞、組織が収縮する。
 2. Liquid based cytology (LBC) 法では直接塗抹法より細胞の膨化が起こりやすい。
 3. アルコール固定では、十分に固定することでヘマテイン-アルミニウムが陰イオンと結合しやすくなる。
 4. アルコール固定が不十分であると Papanicolaou 染色で用いる酸性色素は細胞質に入り込みにくい。
 5. アルコール固定が不十分な検体は退色しやすい。

その3 体腔液・尿・その他

1. 自然尿の細胞診について正しいものはどれですか。

A. 尿路上皮内癌と高異型度尿路上皮癌の鑑別が可能である。	1. A. B
B. 低異型度非浸潤性乳頭状尿路上皮癌では血管間質を伴う乳頭状集塊が高頻度で出現する。	2. A. E
C. 高異型度非浸潤性乳頭状尿路上皮癌では壊死性背景がみられることがある。	3. B. C
D. 反応性尿路上皮細胞では著明な核小体を認める。	4. C. D
E. 扁平上皮癌と尿路上皮癌が混在したときは扁平上皮癌と診断する。	5. D. E
2. 泌尿生殖器腫瘍について正しいものはどれですか。

A. 淡明細胞型腎細胞癌の肉眼像は黄白色調を呈する。	1. A. B
B. 集合管癌は最も頻度の高い腎悪性腫瘍である。	2. A. E
C. ジクロロメタンへの暴露は膀胱癌の発癌に寄与する。	3. B. C
D. セミノーマは放射線感受性が低い。	4. C. D
E. 尿管癌の多くは膀胱頂部に発生する。	5. D. E
3. 乳腺良性病変の細胞診について正しいものはどれですか。

A. 乳管内乳頭腫の細胞集塊辺縁では細胞のほつれが目立つ。	1. A. B
B. 乳管腺腫ではアポクリン化生の成分を認めない。	2. A. E
C. 乳腺症ではメラニン貪食組織球が目立つ。	3. B. C
D. 筋上皮腫の筋上皮細胞は細胞質淡明化を示す。	4. C. D
E. 腺筋上皮腫では腺上皮細胞と筋上皮細胞の増生が目立つ。	5. D. E
4. 乳房パジェット病について正しいものはどれですか。

A. 軟骨化生を認める。	1. A. B
B. 腫瘍細胞は乳頭の表皮内を進展する。	2. A. E
C. 腫瘍細胞にメラニン顆粒を認める。	3. B. C
D. 細胞質内小腺腔を認める。	4. C. D
E. 腫瘍細胞は CK8 陰性である。	5. D. E
5. 甲状腺疾患について正しいものはどれですか。

A. パセドウ病を細胞診で判定することは困難である。	1. A. B
B. 腺腫様甲状腺腫は多彩な細胞像を示す。	2. A. E
C. 慢性甲状腺炎では、全周性の被膜形成が観察される。	3. B. C
D. 濾胞腺腫では Sanderson polster が観察される。	4. C. D
E. プランマー病はほとんど悪性腫瘍である。	5. D. E
6. 中皮腫の細胞像について誤っているものはどれですか。

A. 多数の中皮由来の細胞	1. A. B
B. 好中球を主体とした炎症性背景	2. A. E
C. Giemsa 染色で好酸性を呈する細胞質	3. B. C
D. hump 様細胞質突起を有する相互封入	4. C. D
E. 二核以上の多核細胞	5. D. E
7. リンパ節良性病変と細胞診所見の組合せについて誤っているのはどれですか。

A. サルコイドーシス	球状硝子体	1. A. B
B. 猫ひっかき病	星状小体	2. A. E
C. 皮膚病性リンパ節症	メラニン顆粒貪食組織球	3. B. C
D. 結核性リンパ節炎	乾酪壊死	4. C. D
E. 組織球性壊死性リンパ節炎	免疫芽球様大型リンパ球	5. D. E
8. 悪性リンパ腫について誤っているものはどれですか。

A. 濾胞性リンパ腫は CD10 陽性を示す。	1. A. B
B. 未分化大細胞型リンパ腫は CD30 陽性を示す。	2. A. E
C. 本邦のパーキットリンパ腫は高頻度に Epstein-Barr ウイルス (EBV) 陽性である。	3. B. C
D. 原発性体腔液リンパ腫はヒトヘルペスウイルス 6 (HHV6) 感染を認める。	4. C. D
E. 膿胸関連リンパ腫は Epstein-Barr ウイルス (EBV) 感染を認める。	5. D. E
9. 骨腫瘍について誤っているものはどれですか。

A. Ewing 肉腫細胞は Alcian blue 染色陽性である。	1. A. B
B. 軟骨肉腫の悪性度は細胞異型や細胞密度などで判定する。	2. A. E
C. 脊索腫の背景は粘液様である。	3. B. C
D. 骨肉腫の判定では類骨の存在を確認する必要がある。	4. C. D
E. 骨巨細胞腫では腫瘍性破骨細胞が出現する。	5. D. E

10. 脳腫瘍について誤っているものはどれですか。
- A. 髄芽腫は Homer Wright ロゼットを示す。1. A. B
 B. 下垂体腺腫は単調な細胞像を示す。2. A. E
 C. 膠芽腫は微小血管増殖や壊死を伴う。3. B. C
 D. 星細胞腫は渦巻状配列を示す。4. C. D
 E. 頭蓋咽頭腫は two cell パターンを示す。5. D. E
11. 胸膜中皮腫について正しいものはどれですか。
1. 発症の潜伏期間は石棉曝露後平均 20 年である。
 2. 肉腫型中皮腫細胞が胸水中に出現することはまれである。
 3. 両側性の胸水貯留を認めることが多い。
 4. 胸水中に膠原線維状球状物が出現すれば診断可能である。
 5. 臓側胸膜より発生する場合が多い。
12. 体腔液中に出現する悪性細胞について正しいものはどれですか。
1. PAX8 は甲状腺濾胞癌に対する感度が高い。
 2. PAS 反応陽性の悪性細胞は腺癌と判定する。
 3. 胃低分化腺癌細胞は核中心性である。
 4. 細胞質内に硝子様小体を認めれば腺癌と判定できる。
 5. EMA 陽性であれば肺腺癌と考えてよい。
13. 乳腺悪性腫瘍について正しいものはどれですか。
1. 浸潤性乳管癌の硬性型は腺管形成型より高分化である。
 2. 化生癌では角化や紡錘形細胞がみられる。
 3. 分泌癌の PAS 反応陽性分泌物はジアスターゼ消化性である。
 4. 浸潤性微小乳頭癌の細胞集塊で、核は集塊の辺縁部に位置する。
 5. 背景に多量の壊死物質を認める場合は浸潤性小葉癌である。
14. 古典的ホジキンリンパ腫について正しいものはどれですか。
1. 有痛性のリンパ節腫脹をきたす。
 2. 結節性リンパ球優位型に比べて予後良好である。
 3. 本邦の全悪性リンパ腫の約 50%を占める。
 4. 骨髄浸潤しやすい。
 5. CD30 陽性大型異型細胞が出現する。
15. 脳腫瘍について正しいものはどれですか。
1. 転移性脳腫瘍の原発巣は胃癌が多い。
 2. 脳原発悪性リンパ腫は予後良好である。
 3. 頭蓋内シュワン細胞腫は聴神経に多い。
 4. 髄膜腫は男性に多い。
 5. 胚細胞腫瘍は 50 代に多い。
16. 泌尿器細胞診について誤っているものはどれですか。
1. 高異型度尿路上皮癌の推定は容易である。
 2. 低異型度尿路上皮癌細胞は自然尿中に出現しにくい。
 3. 尿管カテーテル操作後に尿路上皮細胞の大型集塊を認める。
 4. 尿路上皮内癌は高度な核異型を示す。
 5. 尿膜管癌では大型空胞を伴う円形の異型細胞が出現する。
17. 体腔液細胞診で誤っているものはどれですか。
1. ラズベリー小体は卵巣漿液性癌に多くみられる。
 2. 印環型細胞は胃癌に多くみられる。
 3. 高円柱状細胞は大腸腺癌に多くみられる。
 4. 腺癌では空胞状細胞質がみられる。
 5. 中皮腫ではオレンジ G 好性細胞が出現する。
18. 甲状腺悪性腫瘍について誤っているものはどれですか。
1. 髄様癌ではアミロイドを認める。
 2. 乳頭癌の頻度が最も高い。
 3. リンパ腫の多くは B 細胞性である。
 4. 低分化癌細胞の核は乳頭癌と同様の所見を示す。
 5. 未分化癌の細胞出現パターンは多彩である。
19. 軟部腫瘍について誤っているものはどれですか。
1. 高分化型脂肪肉腫は MDM2 や CDK4 の過剰発現を認める。
 2. 胞巣型横紋筋肉腫は小型円形細胞が出現する。
 3. 横紋筋肉腫はジアスターゼ抵抗性 PAS 反応陽性である。
 4. 平滑筋肉腫細胞は葉巻様核が特徴的である。
 5. 脱分化型脂肪肉腫は高分化型脂肪肉腫に由来する。

20. 皮膚悪性腫瘍について誤っているものはどれですか。

1. 日光角化症は有棘細胞癌の前癌病変である。
2. 悪性黒色腫は本邦において最も頻度が高い。
3. メルケル細胞癌はCK20陽性である。
4. ボーエン病は浸潤を欠く有棘細胞癌である。
5. 基底細胞癌は顔面に好発する。

その4 呼吸器

1. 日本人の肺腺癌について正しいものはどれですか。

- A. 約50%にEGFR遺伝子変異を認める。
- B. 微小乳頭状パターンは予後不良因子である。
- C. 全体の約50%にドライバー遺伝子異常が認められる。
- D. 約25%にALK遺伝子の転座を認める。
- E. 篩状構造を示す腺癌にBRAF遺伝子変異が高頻度に認められる。

1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E

2. 肺癌について関係がある組み合わせとして正しいものはどれですか。

- A. PD-L1陽性 _____ 肉腫様成分
- B. ALK融合遺伝子 _____ 印環細胞癌
- C. KRAS遺伝子変異 _____ 浸潤性粘液性腺癌
- D. EGFR遺伝子変異 _____ 腺房型
- E. ROS1融合遺伝子 _____ 微小乳頭状集塊

1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E

3. 反応性再生性変化を起こした気管支上皮細胞でみられる所見のうち正しいものはどれですか。

- A. 明瞭な核小体
- B. 核の大小不同
- C. 核形不整
- D. クロマチン増量
- E. 核縁の肥厚

1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E

4. 高度異型扁平上皮細胞について正しいものはどれですか。

- A. 集団検診における喀痰細胞診にて、D判定から発見されることが多い。
- B. ほとんどは重喫煙者である。
- C. 小集塊を形成して出現する。
- D. 核クロマチンの不均等分布はみられない。
- E. 細胞相互封入像をしばしば認める。

1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E

5. 扁平上皮癌の喀痰細胞所見について正しいものはどれですか。

- A. 核小体が目立つ
- B. 細胞辺縁は明瞭
- C. 細胞間結合が緩い
- D. クロマチンは細顆粒状
- E. 粘液に沿って配列する

1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E

6. 微小乳頭型腺癌で正しいものはどれですか。

- A. 細胞質内粘液
- B. 桑実状細胞集塊
- C. 小型単調な細胞から構成
- D. 構成細胞は20~30個程度
- E. 緩い細胞間結合

1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E

7. 誤っているものはどれですか。

- A. 気管支上皮下層に弾性線維束が存在する。
- B. ヒトの全気道には刷子細胞が分布している。
- C. Club(旧Clara)細胞は葉気管支の主たる構成細胞である。
- D. 杯細胞は細気管支に多数分布する。
- E. 気管の粘膜固有層には混合腺が含まれている。

1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E

8. 杯細胞が多い部位として誤っているものはどれですか。

- A. 鼻前庭
- B. 前頭洞
- C. 鼻腔
- D. 上顎洞
- E. 呼吸細気管支

1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E

9. 次の組み合わせで誤っているものはどれですか。

- A. 莢膜 _____ クリプトコッカス症
- B. 硫黄顆粒 _____ ノカルジア症
- C. アルタネリア _____ 放線菌症
- D. シュウ酸カルシウム _____ 肺アスペルギルス症
- E. ラングハンス型巨細胞 _____ 肺結核

1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E

10. ニューモシスチス肺炎について誤っているものはどれですか。
- A. 細胞診検体としては喀痰が最も望ましい。 1. A. B
 - B. 肺胞洗浄液では検出されにくく、誘発喀痰で検出度は増強する。 2. A. E
 - C. Papanicolaou 染色では菌体が泡沫状の球状集塊として認められる。 3. B. C
 - D. Grocott 染色で菌体は黒褐色に染色される。 4. C. D
 - E. Diff-Quik 染色で栄養型は赤紫色に染色される。 5. D. E
11. 肺の細胞診報告に関して誤っているものはどれですか。
- A. 細胞量が不十分であっても悪性を疑う細胞がなければ陰性と判定する。 1. A. B
 - B. 組織所見と比較検討した場合はその旨を記載する。 2. A. E
 - C. 腺癌の診断で印環細胞を認めた場合はその旨を記載する。 3. B. C
 - D. 陰性の場合に悪性以外の病変が推定できる場合はそれを記載する。 4. C. D
 - E. 陽性の場合には何らかの推定診断を記載しなくてはならない。 5. D. E
12. 腺癌の擦過細胞診で認められる所見として誤っているものはどれですか。
- A. 細胞集塊内の流れ様配列 1. A. B
 - B. 細胞集塊辺縁の毛羽立ち 2. A. E
 - C. 細胞集塊辺縁からの核の突出 3. B. C
 - D. 円柱状細胞の柵状配列 4. C. D
 - E. 細胞の不規則な重積 5. D. E
13. 浸潤性粘液性腺癌の擦過細胞診で誤っているものはどれですか。
- A. 大型の平面的集塊 1. A. B
 - B. 配列は規則的で極性がある 2. A. E
 - C. 核の切れ込み 3. B. C
 - D. 花冠状小型集塊 4. C. D
 - E. 高度クロマチン増量 5. D. E
14. 小細胞癌の擦過細胞診所見で誤っているものはどれですか。
- A. 対細胞形成 1. A. B
 - B. 鋳型様配列 2. A. E
 - C. 一列縦隊 3. B. C
 - D. 大きさが均一 4. C. D
 - E. 密な細胞間結合 5. D. E
15. 卵巣類内膜癌の肺転移と肺原発腺癌の鑑別に有用であるものとして正しいものはどれですか。
1. TTF-1
 2. GATA3
 3. CK7
 4. Pancytokeratin (AE1/AE3)
 5. CK19
16. 胸腺腫の細胞診所見について誤っているものはどれですか。
1. Type A では紡錘形の腫瘍細胞がみられる。
 2. Type AB ではリンパ球優位な領域では小型の多角形上皮細胞がみられる。
 3. Type B1 ではリンパ球と上皮細胞が混在する。
 4. Type B2 では Type B1 よりリンパ球の密度が高い。
 5. Type B3 は上皮細胞の異型が強く、胸腺癌との鑑別が難しい。
17. 肺の正常細胞の形態と機能について誤っているものはどれですか。
1. 気管・気管支腺は外分泌腺である。
 2. 杯細胞増生は重喫煙者に多くみられる。
 3. 扁平上皮化生細胞は喫煙などの慢性的な刺激により出現する。
 4. CCP 細胞(ciliocytophtholia)は杯細胞の変性したものである。
 5. 杯細胞の細胞質は Papanicolaou 染色で空胞状に無染か薄く染色される。
18. Papanicolaou 染色における染色性の組み合わせで誤っているものはどれですか。
1. 含鉄小体 _____ 緑黄色～黄金色
 2. 石灰化小体 _____ 無～緑色
 3. 類でんぷん小体 _____ 青紫色
 4. クルシュマン螺旋体 _____ 黒紫色～紫色
 5. シャルコー・ライデン結晶 _____ 黄色～橙色
19. 肺扁平上皮癌の細胞像として誤っているものはどれですか。
1. 敷石状配列
 2. 細胞相互封入
 3. 壊死性背景
 4. 核の飛び出し
 5. 核の大小不同

20. 次のうち誤っているものはどれですか。
1. ムーコル症では幅の不揃いなリボンやワカメ状で菲薄な菌糸を認める。
 2. クリプトコッカスは涙滴状の分芽胞子を認める。
 3. アスペルギルス症では分岐状の菌糸を認める。
 4. サイトメガロウイルス (CMV) 感染症では核内や細胞質内に封入体が認められる。
 5. ウェステルマン肺吸虫症では蓋のない卵円形の虫卵が認められる。

その5 消化器

1. 口腔細胞診について正しいものはどれですか。

A. 深層型扁平上皮細胞の採取が重要である。	1. A. B
B. 扁平苔癬では Tzanck 細胞の出現が特徴的である。	2. A. E
C. 正常頬粘膜では角化型扁平上皮が主体に採取される。	3. B. C
D. 尋常性天疱瘡はヘルペスウイルス感染が原因である。	4. C. D
E. 真菌症ではカンジダ症が最も頻度が高い。	5. D. E
2. 筋上皮細胞への分化を特徴とする唾液腺腫瘍として正しいものはどれですか。

A. 粘表皮癌	1. A. B
B. 多形腺腫	2. A. E
C. 腺様嚢胞癌	3. B. C
D. 腺房細胞癌	4. C. D
E. ワルチン腫瘍	5. D. E
3. 食道癌について正しいものはどれですか。

A. 女性に多い。	1. A. B
B. パレット食道からは扁平上皮癌が発生しやすい。	2. A. E
C. 扁平上皮癌部分はヨード染色で不染色性を示す。	3. B. C
D. 癌細胞が粘膜下層にとどまる食道癌は表在癌と呼ばれる。	4. C. D
E. 上皮内扁平上皮癌に対する治療法の第一選択は放射線治療である。	5. D. E
4. 胃消化管間質性腫瘍 (GIST) の診断で有用な免疫染色について正しいものはどれですか。

A. p53	1. A. B
B. c-kit	2. A. E
C. CD34	3. B. C
D. S-100	4. C. D
E. Desmin	5. D. E
5. 肝腫瘍について正しいものはどれですか。

A. 肝芽腫は高齢者に多い。	1. A. B
B. 肝細胞腺腫は男性に多い。	2. A. E
C. 肝細胞癌は HMB-45 陽性となる。	3. B. C
D. 非アルコール性脂肪肝炎は肝細胞癌の原因となる。	4. C. D
E. 肝血管筋脂肪腫の半数以上に髄外造血がみられる。	5. D. E
6. 胆汁細胞診において悪性判定で重視されるものとして正しいものはどれですか。

A. 核小体	1. A. B
B. 壊死性背景	2. A. E
C. 多彩な細胞集塊	3. B. C
D. 細胞質境界明瞭	4. C. D
E. 集塊辺縁周囲に細胞質がみられる	5. D. E
7. 膵神経内分泌腫瘍のグレード分類について評価すべき項目として正しいものはどれですか。

A. 肝臓転移	1. A. B
B. 核分裂像数	2. A. E
C. Ki-67 標識率	3. B. C
D. クロモグラニン A	4. C. D
E. シナプトフィジン	5. D. E
8. 舌癌扁平上皮癌について誤っているものはどれですか。

A. 舌尖部に好発する。	1. A. B
B. 血行性転移をしやすい。	2. A. E
C. 表層分化型を示すものが多い。	3. B. C
D. リスクファクターに慢性刺激がある。	4. C. D
E. 細胞診では深層型異型細胞と角化型異型細胞が混在する。	5. D. E
9. 誤っているのはどれですか。

A. 潰瘍性大腸炎では陰窩膿瘍がみられる。	1. A. B
B. クロウン病は肛門部痔瘻を合併しやすい。	2. A. E
C. 腸結核では非乾酪性類上皮細胞肉芽腫がみられる。	3. B. C
D. アメーバ虫体栄養体は PAS 反応で灰青色を示す。	4. C. D
E. 消化管アミロイドーシスに Congo red 染色が有用である。	5. D. E

10. 誤っているものはどれですか。
- A. 胆嚢癌は男性に多い。 1. A. B
 - B. 肝外胆管癌の多くは腺癌である。 2. A. E
 - C. 粘液嚢胞性腫瘍は卵巣様間質を有する。 3. B. C
 - D. 胆管内乳頭状腫瘍は周囲胆管との交通がある。 4. C. D
 - E. 原発性硬化性胆管炎の約半数でクローン病を合併する。 5. D. E
11. 膵臓病変について誤っている組み合わせはどれですか。
- A. ガストリノーマ _____ Zollinger-Ellison syndrome 1. A. B
 - B. インスリノーマ _____ 低血糖 2. A. E
 - C. 自己免疫性膵炎 _____ IgG4 陽性形質細胞 3. B. C
 - D. 多発性内分泌腫瘍症 1 型(MEN1) _____ 高齢女性に好発 4. C. D
 - E. 膵漿液性嚢胞腺腫 _____ 高齢男性に好発 5. D. E
12. 超音波内視鏡下穿刺吸引(EUS-FNA)について誤っているものはどれですか。
- A. 合併症に出血がある。 1. A. B
 - B. 化学療法前の癌の病理学的根拠になる。 2. A. E
 - C. 胃腺窩上皮細胞が混入することがある。 3. B. C
 - D. 迅速細胞診で確定診断を報告する。 4. C. D
 - E. 膵嚢胞性病変に対して有用な検査法である。 5. D. E
13. 唾液腺腫瘍について正しいものはどれですか。
- 1. 腺様嚢胞癌では中間細胞がみられる。
 - 2. ワルチン腫瘍は女性に好発する。
 - 3. 唾液腺導管癌はエストロゲンレセプター(ER)染色が高率に陽性となる。
 - 4. 多形腺腫は Giemsa 染色で異染性を示す細胞質内顆粒がみられる。
 - 5. 乳腺相似分泌癌(分泌癌)の多くは *ETV6-NTRK3* 融合遺伝子を有する。
14. 肝内胆管癌の細胞像について正しいものはどれですか。
- 1. N/C 比の低下
 - 2. 単一小型形態
 - 3. 細胞質内粘液
 - 4. ロゼット様配列
 - 5. 好酸性顆粒状の細胞質
15. 膵腫瘍について正しいものはどれですか。
- 1. 膵管癌の多くは *GNAS* 遺伝子変異を有する。
 - 2. 膵腺房細胞癌は Bcl-10 が特異的に発現する。
 - 3. 膵神経内分泌腫瘍は Trypsin が発現する。
 - 4. 膵充実性偽乳頭状腫(Solid-pseudopapillary neoplasm)の多くは *KRAS* 遺伝子変異を有する。
 - 5. 膵管内乳頭粘液性腫瘍(Intraductal papillary mucinous neoplasm)における膵胆道型の診断に MUC2 染色が有用である。
16. 口腔病変について誤っているものはどれですか。
- 1. 口腔癌では扁平上皮癌が最も多い。
 - 2. 悪性黒色腫は舌に好発する。
 - 3. エナメル上皮腫は 20~30 代に好発する。
 - 4. 白板症は口腔粘膜の角化亢進による病変である。
 - 5. 紅板症は前癌病変(口腔潜在的悪性疾患)の一つである。
17. 誤っているものはどれですか。
- 1. 粘表皮癌は耳下腺に好発する。
 - 2. 腺様嚢胞癌は神経周囲侵襲を伴うことが多い。
 - 3. 唾液腺細胞診報告様式にミラノシステムがある。
 - 4. 正常唾液腺の腺房細胞はチモーゲン顆粒を有する。
 - 5. ワルチン腫瘍は唾液腺良性腫瘍のなかで最も発生頻度が高い。
18. 誤っているものはどれですか。
- 1. カルチノイド腫瘍/神経内分泌腫瘍は直腸に好発する。
 - 2. 消化管悪性黒色腫は直腸肛門部に好発する。
 - 3. 早期胃癌の定義ではリンパ節転移の有無を問わない。
 - 4. 胃癌術中細胞診で悪性疑いの場合は CY1 と判定する。
 - 5. 胃 MALT リンパ腫の多くは *Helicobacter pylori* 感染を背景として発生する。
19. 胆道癌のリスク因子について誤っているものはどれですか。
- 1. 寄生虫感染
 - 2. 総胆管結石症
 - 3. ジクロロプロパン
 - 4. 膵・胆管合流異常
 - 5. 黄色肉芽腫性胆嚢炎

20. 腺腫瘍の細胞像について誤っているものはどれですか。
1. 腺管癌では核重積性がみられる。
 2. 腺房細胞癌では大型核小体が見られる。
 3. 神経内分泌腫瘍では核クロマチンがごま塩状である。
 4. 腺管内乳頭粘液性腫瘍(Intraductal papillary mucinous neoplasm)では砂粒体が見られる。
 5. 腺充実性偽乳頭状腫瘍(Solid-pseudopapillary neoplasm)では核溝が見られる。

その6 婦人科

1. コルポスコピーについて正しいものはどれですか。

A. 移行帯には腺開口は認めない。	1. A. B
B. 移行帯は移行上皮に覆われている。	2. A. E
C. 移行帯と扁平上皮は接して認められる。	3. B. C
D. 赤点斑は毛細血管が点状に見える限局性の異常病変である。	4. C. D
E. 白色上皮は酢酸加工前にみられる限局性の異常病変である。	5. D. E
2. 閉経後に高値となるホルモンとして正しいものはどれですか。

A. ゴナドトロピン放出ホルモン	1. A. B
B. 卵胞刺激ホルモン	2. A. E
C. オキシトシン	3. B. C
D. エストロゲン	4. C. D
E. プロゲステロン	5. D. E
3. 妊娠時にみられる現象として正しいものはどれですか。

A. 初期～中期には舟状細胞が減少する。	1. A. B
B. 細胞性栄養膜細胞(トロホプラスト)には有尾型の細胞質が見られる。	2. A. E
C. アリアス・ステラ反応は異所性妊娠ではみられない。	3. B. C
D. 脱落膜細胞は子宮内膜間質細胞が変化したものである。	4. C. D
E. 産褥期には傍基底細胞が増える。	5. D. E
4. 誤っているものはどれですか。

A. 子宮, 卵管, 膣の上部はミューラー管から形成される。	1. A. B
B. 膣の下部は尿生殖洞から形成される。	2. A. E
C. 中隔子宮は反復流産の原因となる。	3. B. C
D. 膣欠損症では機能性子宮を有する。	4. C. D
E. 子宮奇形を有する症例はしばしば卵巣の発生異常を伴う。	5. D. E
5. 組み合わせで誤っているものはどれですか。

A. 膣 _____ 重層扁平上皮	1. A. B
B. 子宮腔部 _____ 線毛円柱上皮	2. A. E
C. 子宮内頸部 _____ 多列線毛上皮	3. B. C
D. 子宮内膜 _____ 円柱上皮	4. C. D
E. 卵巣表面 _____ 中皮	5. D. E
6. 細胞成熟度指数(M. I.)の組み合わせで誤っているものはどれですか。

A. 新生児 _____ 0/80/20	1. A. B
B. 幼児期 _____ 90/10/0	2. A. E
C. 授乳期 _____ 80/20/0	3. B. C
D. 排卵期 _____ 95/5/0	4. C. D
E. 老年期 _____ 0/20/80	5. D. E
7. 次のうち正しいものはどれですか。
 1. 子宮絨毛癌では絨毛構造は欠如する。
 2. 子宮絨毛癌のほとんどは非妊娠性である。
 3. 部分胞状奇胎では胎児成分はみられない。
 4. 部分胞状奇胎では細胞性栄養膜細胞は免疫組織化学的に p57Kip2 陰性である。
 5. 全胞状奇胎では子宮筋層内へ奇胎絨毛の侵入が認められる。
8. 卵巣腫瘍について正しい組み合わせはどれですか。

1. 顆粒膜細胞腫 _____ 胚細胞腫瘍
2. セルトリ・ライディッヒ細胞腫 _____ 上皮性腫瘍
3. 漿液性癌 _____ 性索間質腫瘍
4. 奇形腫 _____ 胚細胞腫瘍
5. ブレンナー腫瘍 _____ 性索間質腫瘍
9. 組み合わせで誤っているものはどれですか。

1. ヒトパピローマウイルス(HPV) _____ 核周囲明庭
2. <i>Candida</i> _____ 鋭角分岐菌糸
3. ヘルペスウイルス _____ 核内封入体
4. <i>Trichomonas</i> _____ 洋梨状虫体
5. <i>Chlamydia Trachomatis</i> _____ 星雲状封入体

10. 腔悪性黒色腫について誤っているものはどれですか。
1. 若年者に多く発生する。
 2. 早期に転移を起しやすい。
 3. 大型の核, 大型の核小体を有している。
 4. 免疫染色では S-100, HMB-45 が陽性になる。
 5. 腫瘍細胞の細胞質内にメラニン顆粒が認められる。
11. 卵巢機能異常により無月経をきたす疾患として誤っているものはどれですか。
1. Turner 症候群
 2. Sheehan 症候群
 3. Asherman 症候群
 4. 早発卵巢不全
 5. 多嚢胞性卵巢症候群
12. 分葉状頸管腺過形成 (lobular endocervical glandular hyperplasia: LEGH) について誤っているものはどれですか。
1. ヒトパピローマウイルス (HPV) と関連する。
 2. 中性粘液を有する。
 3. 胃幽門腺に類似する。
 4. 細胞異型はみられない。
 5. 水様性帯下の症状がみられる。
13. 子宮体癌の危険因子として誤っているものはどれですか。
1. 肥満
 2. 糖尿病
 3. 多嚢胞性卵巢症候群
 4. 黄体ホルモンの服用
 5. タモキシフェンの服用
14. 子宮筋腫について誤っているものはどれですか。
1. 過多月経の原因となる。
 2. 境界不明瞭な腫瘍様のエコー像を示す。
 3. 閉経後に症状が緩和する。
 4. 子宮筋腫との鑑別に MRI 検査が有用である。
 5. 約 10% は悪性化する。
15. 卵巢腫瘍の所見について誤っている組み合わせはどれですか。
1. 高異型度漿液性癌 _____ 砂粒体
 2. 明細胞癌 _____ 鋸釘細胞 (Hobnail 状細胞)
 3. 卵黄嚢腫瘍 _____ シラーディバル小体
 4. 顆粒膜細胞腫 _____ コールエクスナー小体
 5. 未分化胚細胞腫 _____ ラインケ結晶
16. 卵管癌について誤っているものはどれですか。
1. p53 の遺伝子異常をしばしば有する。
 2. 組織型は漿液性癌が多い。
 3. 遺伝性乳癌卵巢癌症候群と関連する。
 4. 上皮内癌では播種や転移はない。
 5. 卵巢癌に準じて抗がん剤治療をする。
17. 外陰腫瘍について誤っているものはどれですか。
1. 悪性腫瘍では扁平上皮癌が最も多い。
 2. 乳房外パジェット病の多くは浸潤性病変を有する。
 3. ヒトパピローマウイルス (HPV) 感染を伴わない外陰上皮内腫瘍は高齢者に多い。
 4. 尖圭コンジローマはヒトパピローマウイルス (HPV) 6, 11 と関係する。
 5. ボーエン様丘疹症は多中心性に病変を生じることが多い。
18. 子宮頸部の胃型粘液性癌について誤っているものはどれですか。
1. 通常型内頸部腺癌よりも予後不良である。
 2. Peutz-Jeghers 症候群と関連がある。
 3. 腫瘍細胞の細胞境界は明瞭である。
 4. 免疫組織化学的には MUC6 は陰性となる。
 5. 最小偏倚腺癌は非常に高分化な胃型粘液性癌の亜型である。
19. 子宮体癌について誤っているものはどれですか。
1. 我が国では減少傾向にある。
 2. 好発年齢のピークは閉経前後である。
 3. 不正性器出血を認めることが多い。
 4. 進行期は I 期が多い。
 5. 類内膜癌が多い。

20. 放射線治療による細胞の変化について誤っているものはどれですか.
1. 多核化
 2. 核細胞質比(N/C比)の上昇
 3. 核小体の腫大
 4. 細胞質内の空胞形成
 5. 細胞質の多染性